

新型コロナウイルス

誰も置いてきぼりにならないように…

表面でも書きましたが、6月から毎週土曜日にNPO（さんきゅうハウス）での活動で生活相談と弁当配食を実施しています。市民からの相談や路上生活に陥った人の支援など、やらねばならないことは毎日尽きません。

さんきゅうハウスのスタッフが夜の立川駅前で3日間水以外何も食べずに過ごしていたという青年を連れてきました。なんと18歳でした。児童養護施設で育ち、高校中退。施設を出て新聞配達や解体屋の寮に住んでいたものの、仕事を失って私たちと出会うことになりました。取り急ぎは彼のアパートを何とか探して生活保護に繋げましたが、今後の就労をはじめ課題は尽きません。

新型コロナによる失業や困窮はこれから更に深刻化していくでしょう。誰も置いてきぼりにならないよう、今後も相談や支援活動を続けていきます。

写真のために
マスクして
息とめてる
(きい...)



立川市議会議員
山本ようすけ
緑たちかわニュース Vol.8

発行日:2020年10月1日
発行:立川市議会議員 山本ようすけ
連絡先:立川市高松町2丁目19-1
TEL:080-5650-7833
Email:t.yamayou@gmail.com



さんきゅうハウスの
弁当炊き出し
山本事務所前にて

山本ようすけの議会活動(環境建設委員会)

環境建設委員会 副委員長に就任しました

まちづくりやインフラ、環境などを所管する環境建設委員会の副委員長に就任いたしました。昨今、気候変動や環境破壊に対する問題意識は高まっています。立川の緑の在り方や環境保全等は今後ますます重要になっていきます。



副委員長として公正な議事はもちろんのこと、立川をより環境に配慮したまちにできるよう努めてまいります。

伐り過ぎでは?? 栄緑地のイチョウの木

栄緑道のイチョウの木が丸坊主にされていると市民から連絡を受け実際に見てみるとあまりにも殺風景…これでは落ち葉も银杏も楽しめません。公園本来の価値を考えて樹木の剪定に努めるよう、議会ではたらきかけました。



山本洋輔 プロフィール

- 1990年 武蔵村山市生まれ
- 2009年 東京都立 立川高等学校卒業
- 2014年 一橋大学 社会学部 社会学科卒業
コンサルティング会社に就職
- 2018年 立川市議会議員選挙に立候補 初当選
立川市議会議員(最年少)
環境建設委員会 副委員長

【好きなこと】
美術館・博物館巡り、映画鑑賞、歴史、読書、旅行、登山
街歩き、ゲーム、子どもと遊ぶこと

【嫌いなこと・苦手】
嘘をつくこと、肉の脂身、字を書くこと(悪筆)

【最近】
30歳になりました!



「とにかく困っている人を助けたい」

上の写真の事務所に初めて入ったのは18歳の浪人生だった頃、ホームレス支援のボランティアをするためでした。それから10年以上が経ち、現在は山本ようすけ事務所となったものの市民の相談拠点、支援拠点であることには変わらず、6月からは毎週土曜日にお弁当の炊き出しを始めました。

私が初めて困窮者支援を始めたときから社会情勢は一層の厳しさを増しています。昨今のコロナ禍では更に多くの人々の生活が脅かされています。声を挙げられない人や相談相手を見つけられない人もたくさんいます。これまでも増して議会で皆様の声を届けるとともに、困っている人たちの相談相手にならねばと痛切に感じています。

ご遠慮なくお気づきの点やご要望、ご相談がありましたらご連絡くださいと思います。

(*) 当時は立川前市議 大沢 幸たかの事務所だった
山本にあらず物好きな議員でした...

山本洋輔